いずもの木を使ってつくられた木製用品が届きました

出雲で育った木、「いずもの木」を使ってつくられたテーブルやいすなどが子育て支援センターに届きました！ この取組は、森林環境譲与税を活用した出雲市の取組のひとつで、子どもたちが木に触れることで自然とのつながりを感じ、子どもを感性豊かに育てる「木育」を推進し、また出雲の森や山を大切に思い続ける子に育ってもらうために実施しています。

子育て支援センターをご利用の際には、ぜひお子さんと一緒に「いずもの木」に触れ、木の手触りやあたたかみを感じてみてください。

《 ひかわ子育て支援センター 》
シアターワゴン

《 いずも子育て支援センター 》
木のテーブル・ベンチ

《 ひらた子育て支援センター 》
ウッドスツール

《 ひかわ子育て支援センター 》
ままごとテーブル

森林環境譲与税（しんりんかんきょうじょうよぜい） とは…

手入れが行き届いている森林には、木材を生み出すだけではなく、地球の気温を上げないようにしたり、土砂崩れを起こさないようにしたり、きれいな水を育んだりする力があります。近年、担い手が少なくなってきたことから、手入れが行き届いていない森林が増えてきています。この問題を解決するため、国において森林環境税が作られました。

森林環境譲与税は、この森林環境税を財源に国から市町村に譲与されており、市では令和4年度から森林整備や市産材の利活用などに使用しています。